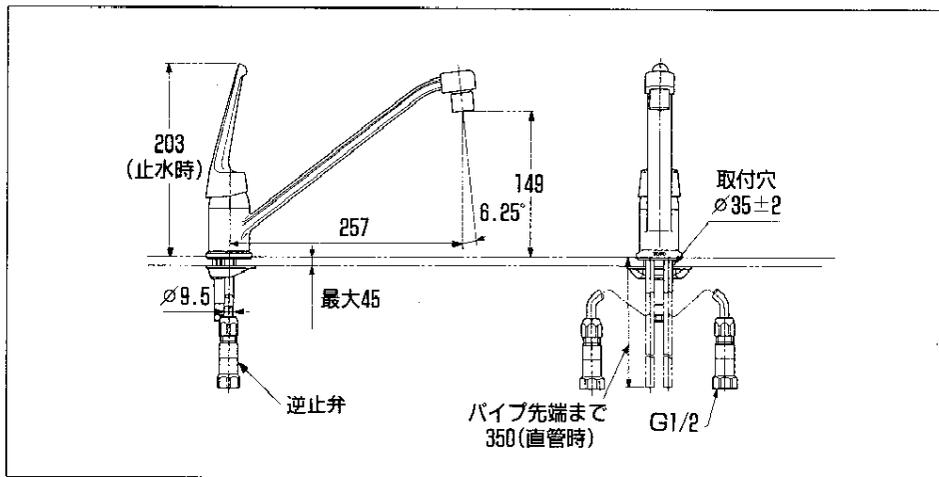


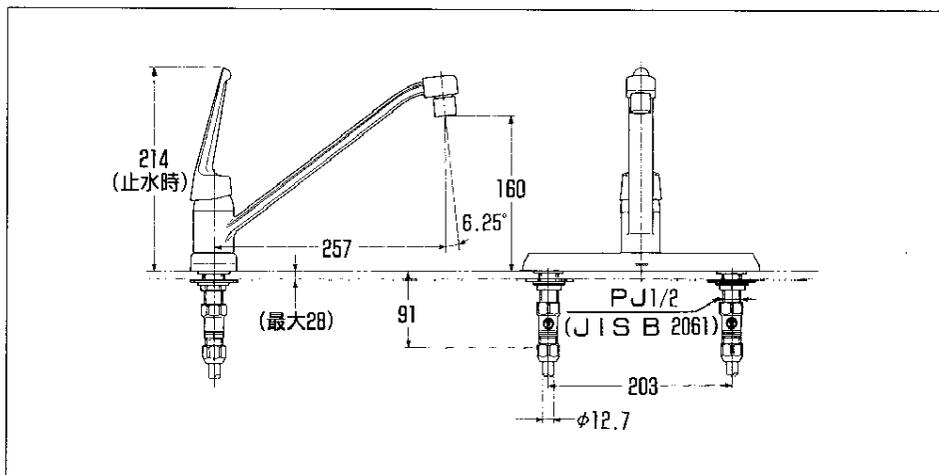
シングルレバー混合栓取付説明書

完 成 図

TKD31EX (一般用), TKD31EZKX (寒冷地用)



TKD33EX (一般用), TKD33EZKX (寒冷地用)



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

使用条件

1. 使用水圧

(1)瞬間型給湯機と組み合わせる場合

給水圧力 $\left\{ \begin{array}{l} \text{最低必要水圧} \dots\dots (\text{表参照}) \\ \text{最高水圧} \dots\dots\dots 0.74\text{MPa} (7.5\text{kg f/cm}^2) \end{array} \right.$

(設定条件)

- レバーハンドルは全開
- 水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定
- 吐水温度: 38℃
- 能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定
- 給湯配管長さ: 5m
- 比例制御タイプの出湯温度60℃
- 給湯機が着火する下限の圧力とする

※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

器具入口部における最低必要水圧(MPa (kg f/cm²))

給湯機タイプと号数		最低必要水圧	
能力手動切替タイプ		12号	A+0.49 (5.0)
比例 制 御 タ イ プ	TOTO カスタム 制御方式	10号	0.12 (1.2)
		16号	
		20号	0.13 (1.3)
	TOTO トリコン 制御方式 (トリコン ・コンタクト ・アクティ)	16号	0.09 (0.9)
		20号	
		24号	
		アクティ	0.07 (0.7)
		スーパーアクティ	
	32号	0.08 (0.8)	
	TOTO ハイトリコン 制御方式	21号	0.07 (0.7)
		24号	
	TOTO コマンド	16号	0.12 (1.2)
24号		0.09 (0.9)	
TOTO ハイコマンド	21号	0.07 (0.7)	
	24号		

注) 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。

(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

(2)貯湯式給湯器と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 $\left\{ \begin{array}{l} \text{最低必要圧力} \dots\dots 0.05\text{MPa} (0.5\text{kg f/cm}^2) \\ \text{最高圧力} \dots\dots\dots 0.74\text{MPa} (7.5\text{kg f/cm}^2) \end{array} \right.$

(3)給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

2. 給湯に蒸気を使用しないでください。

3. 湯・水を逆配管しないでください。

なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

4. 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

器具の取付け

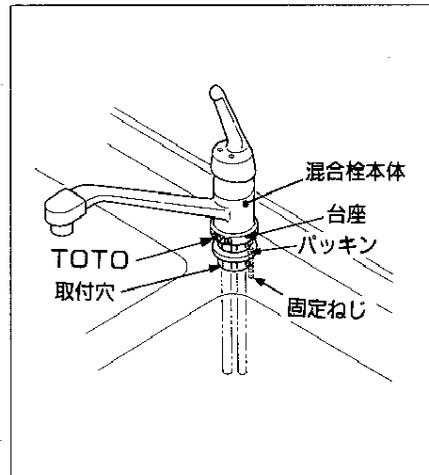
1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

2. 混合栓の取付け

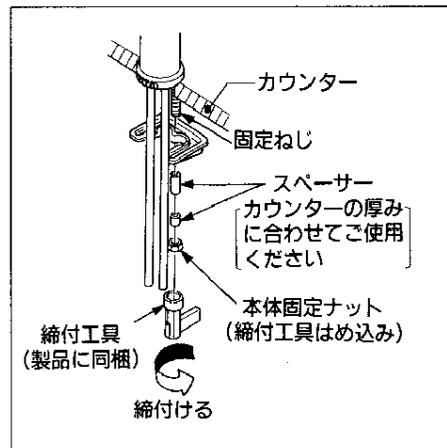
<TKD31EX, TKD31EZKXの場合>

- (1)右図のように、台座のTOTOマークが正面にくるように取付穴部分に台座を置き、混合栓本体の固定ねじが後ろにくるように、混合栓本体を台座に設置してください。

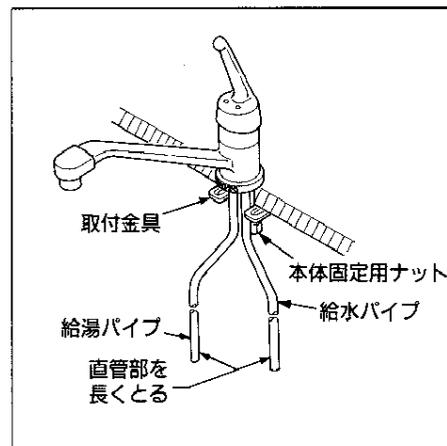


- (2)取付穴が台座及び混合栓本体の中央にくるように仮固定してください。但し本体固定用ナットは、同梱の締付工具にはめ込んでありますので、仮固定の際は必ず同梱の締付工具を使用してください。

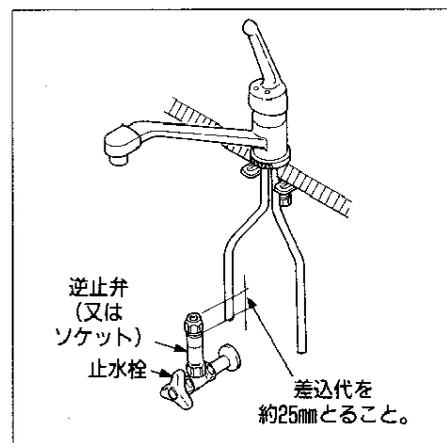
※スペーサーは、カウンターの板厚が28mm以下の場合に使用してください。



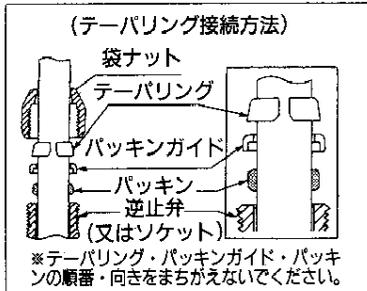
- (3)給水・給湯パイプを、止水栓の取出し位置に合うように曲げて広げてください。このとき、できるだけ直管部が長くなるようにしてください。また、給水・給湯パイプがつぶれないように注意してください。



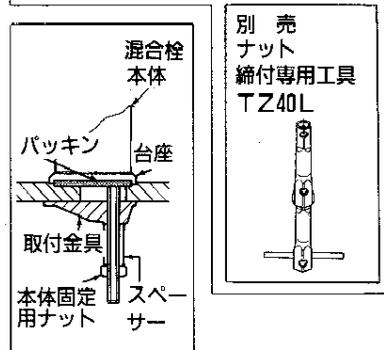
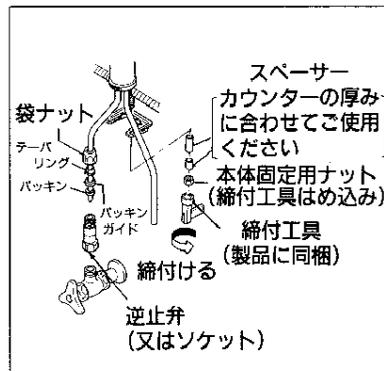
- (4)逆止弁(寒冷地用の場合はソケット)を止水栓に仮固定した後、給水・給湯パイプの必要長さあたり切断してください。このときパイプの差込代は約25mm確保してください。



(5)給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順に入れて、逆止弁（又はソケット）を差込んでください。次に逆止弁（又はソケット）および混合栓本体を本固定してください。その際同梱の締付工具又は、別売りのナット締付専用工具（TZ40L）を利用して本体固定用ナットを確実に締めてください。

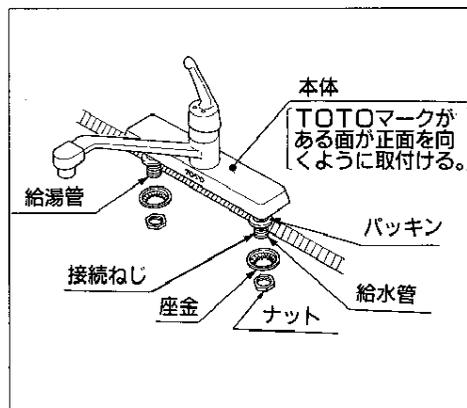


※混合栓本体を固定する際、台座下のパッキンの取付位置をまちがわないように注意してください。取付穴が台座及び混合栓本体の中心にくるように取付けてください。

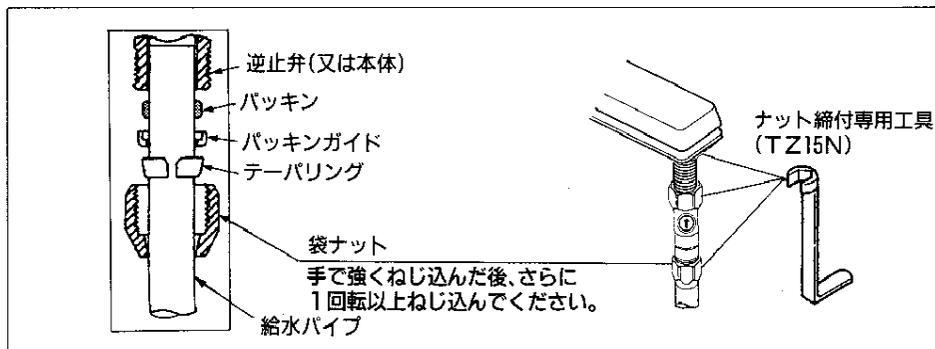


<TKD33EX, TKD33EZKXの場合>

(1)右図のように、TOTOマークが正面にくるようにして混合栓本体をカウンター穴に差し込んでください。



(2)混合栓を固定するときは、別売りのナット締付専用工具（TZ15N）を利用して確実に締めてください。



※差し込み給水・給湯パイプに袋ナットを入れ、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順番・向きをまちがえないように接続してください。

寒冷地用水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

〈水抜手順〉

- (1)レバーハンドルを中央位置（湯側・水側の中間）で下げる。
- (2)水抜コックを開く。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんは柔らかな布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

分解と点検

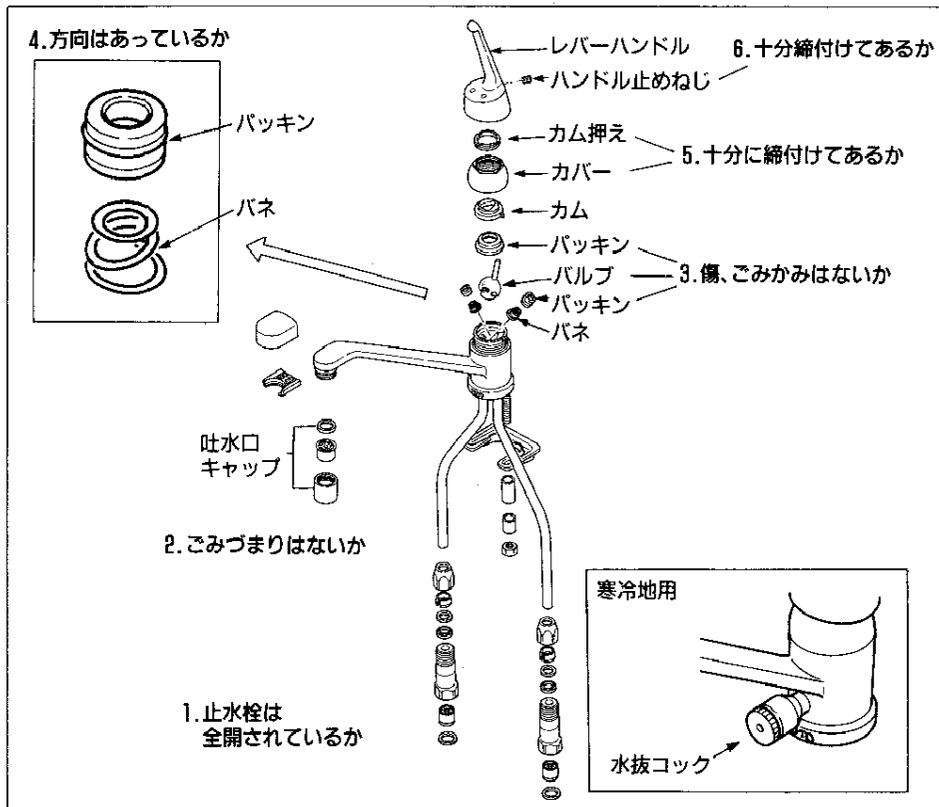
取付後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

故障とその点検箇所	
現象	点検項目
吐水量が少ない。	1、2
水が止まらない。	3、4、5
吐水温度不良。	1、2
ハンドルがガタつく。	6

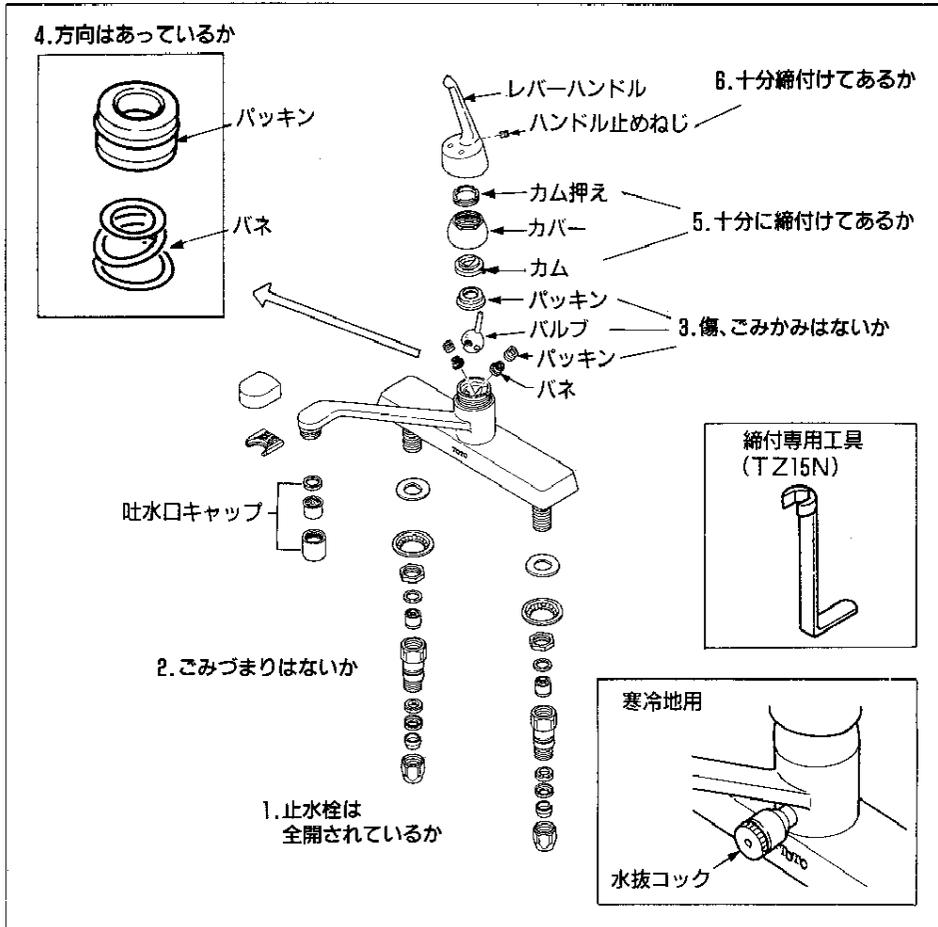
※ 5、6の点検の際には、同梱の工具を使用してください。



<TKD31EX, TKD31EZKXの場合>

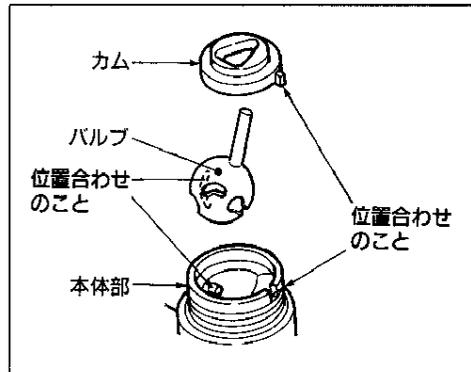


<TKD33EX, TKD33EZKXの場合>



点検時の注意

- ・カムと本体部を組付ける際には、カム凸部と本体部の切欠き部の位置合わせを行なってください。
- ・バルブと本体部を組付ける際には、バルブの切欠き部と本体部の凸部の位置合わせを行なってください。



※同梱のご愛用のしおりは、必ずお客様にお渡しください。

手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。